

～琵琶湖配備『青バイ』第1回活動報告～

平成22年度滋賀県彦根市 船舶水難事故救助訓練報告



平成22年6月28日(月)
PW安全協会関西地方本部



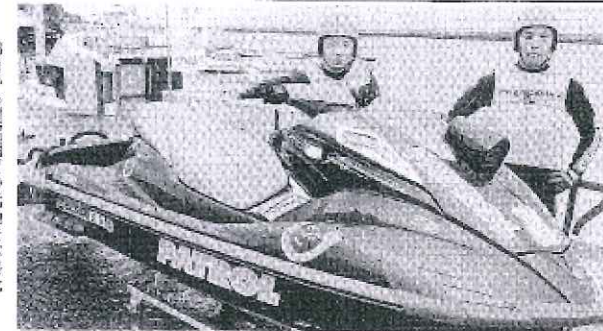
平成22年度滋賀県彦根市船舶水難事故救助訓練活動実施報告



●産経新聞

（朝三編成は他紙同）

18日から琵琶湖での活動を本格化する「青パイ」。ハンドルそばの小さな回転灯が点滅し、注意を喚起する。彦根市の彦根港



18日から、琵琶湖

青パイで水上パトロール

「青パイ」とは、各地で訪れ、水上バイクを走らせボランティアらが自由に青色で来たが、進入禁止区域に回転灯をつけ、通禁する者入ったり、行楽客に接近する供の安全を守る「青色パイ」の水上版。水上バイクが遊泳客に近づくと危険な運転をしないよう呼びかけるほか、緊急時には救助活動も行う。愛好家らでつくる「パソナルウォータークラブ安全協会」（本部・静岡岡部西市）が平成20年から各地の海辺で実施。これまで千原真、福がふんしたおぼれている人隣県、広島県など6カ所のを約5分で済ませ運んだ。7月18日には県が琵琶湖上をパトロールする「琵琶湖ルール・マナーアップ」を兼ねた行楽客のほか、近頃や東海から愛好家が多く、回転灯をつけた「青パイ」

青色回転灯付きの水上バイク「青パイ」で、琵琶湖のパトロールやマナーアップに取り組み活動が18日から、琵琶湖で本格化する。愛好家らでつくる協会有り数年、各地の海で取り組んできたが、近頃は初めて、水上バイクは遊泳客の近くを走るなど一部でマナーの悪さも指摘されており、協会では「ルールを守れば楽しい乗り物。夏本番を安全に楽しんでほしい」と呼びかけている。



天保義民一揆テーマ演歌「近江の炎」CDが完成
江戸時代、近江国（滋賀県）で起きた天保義民一揆をテーマにした演歌「近江の炎」を収録したCDが完成した。写真、高島市出身の作詞家、畑中サブローさん（大阪在住）76）が作詞を手がけ、多くの人に

1台を使い、本格的に活動を始める。
協会の広報担当、土屋武志さん（46）は「青パイ」の活動を通じ、地元の人々と水上バイク利用者が共存できるよみになれば」と話している。

平成22年度滋賀県彦根市船舶水難事故救助訓練活動実施報告

- ・日程:平成22年6月26日(土) 10:00~12:30
- ・場所:滋賀県彦根市彦根港港内(滋賀県彦根市松原町)
- ・主催:彦根地方水上安全協会,彦根警察署
- ・参加機関・団体:
 - 彦根地方水上安全協会,彦根警察署,長浜警察署,彦根市,彦根市消防署,
 - 滋賀県琵琶湖レジャー対策室,(財)日本海洋レジャー安全振興協会,
 - PW安全協会関西地方本部琵琶湖支部,琵琶湖アクアランク救助隊
- ・PWSA参加者:松岡琵琶湖支部長,事務局・土居
レスキュー2名(原,蔵原・ヤマハマリーナ琵琶湖スタッフ・K38講習受講者)
- ・実施内容:想定された3つの水難事故に対しての救助訓練実施
 - 想定その1:彦根港沖合いにて,観光船とモーターボートが衝突。
誤って落水した乗客の救助と,衝突時,観光船から発生した
火災の消化活動実施。
 - 想定その2:モーターボートから落水した救命胴衣未着用の幼児が,
水没し行方不明となり,琵琶湖アクアランク救助隊が出動し,
水中捜査後救出し,救出後蘇生処置後,救急車にて病院へ搬送。
誤って落水した乗客の救助と,衝突時,観光船から発生した
火災の消化活動実施。
 - 想定その3:モーターボートから誤って落水した乗船者を,付近をパトロール中の
青バイが発見し,落水者の救助を実施。

平成22年度滋賀県彦根市船舶水難事故救助訓練活動実施報告

●京都新聞

2010年(平成22年)6月27日 日曜日 滋賀地域 30

琵琶湖に投げ出された人の救助訓練にあたる水上バイク「青バイ」(彦根市・彦根港)

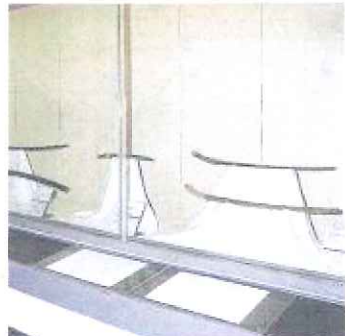


滋賀

「青バイ」も初披露

彦根 水難救助訓練きびきび

琵琶湖のレジャー客が増える夏を前に、水難事故を想定した救助訓練が26日、彦根市松原町の彦根港であった。警察や消防、彦根水上安全協会など14団体の約50人が連携をとり、救助訓練にきびきびと取り組んだ。観光船とモーターボートが衝突し、観光船



形太刀(右端)など展示された(長浜市・長浜城歴史博物館)

●毎日新聞

湖上の夏のレジャー事故に備え 救助訓練



落水者を手際よく救助する「青バイ」彦根港で

彦根 湖上レジャーのシーズンに合わせて、さまざまな船舶水難事故を想定した救助訓練が26日、彦根市の彦根港一帯で行われた。彦根、長浜両署と彦根地方水上安全協会、観光船会社、水難救助に協力するボランティアグループなど計14団体の約50人が参加し、雨の中で本番さながらの救助活動を繰り広げた。

①モーターボートと衝突した観光船が炎上
②モーターボートから1人が湖上に転落
などに4バターンの想定ごとに、彦根署の警備艇が救助して救急車で搬送したり、放水するなどした。

また、NPO法人PW(パーソナルウォータークラブ)安全協会琵琶湖支部(大津市)に初配備され、琵琶湖の安全監視などに出動するパトロール仕様の水上オートバイ「青バイ」も訓練に初参加し、落水者を手際よく救助する活動を披露。彦根港周辺では、近所の人や観光客らが訓練を見守った。

彦根、長浜両署管内では今年に入り、水難、船舶事故の発生はないが、両署は「夏場は徹底した安全指導をする」としている。

【松井剛夫】

●滋賀彦根新聞



転覆した人を「青バイ」で救助する訓練の様子

「青バイ」初登場
彦根港で救助訓練
本格的な夏を前に彦根港で26日、船舶水難事故の対応訓練が行われた。彦根署の警備艇が救助して救急車で搬送したり、放水するなどした。

仏壇・仏具のご用命は
前田仏壇店
守山市杉江町3443
maeda-butuden.co.jp
TEL 0120 39-5330

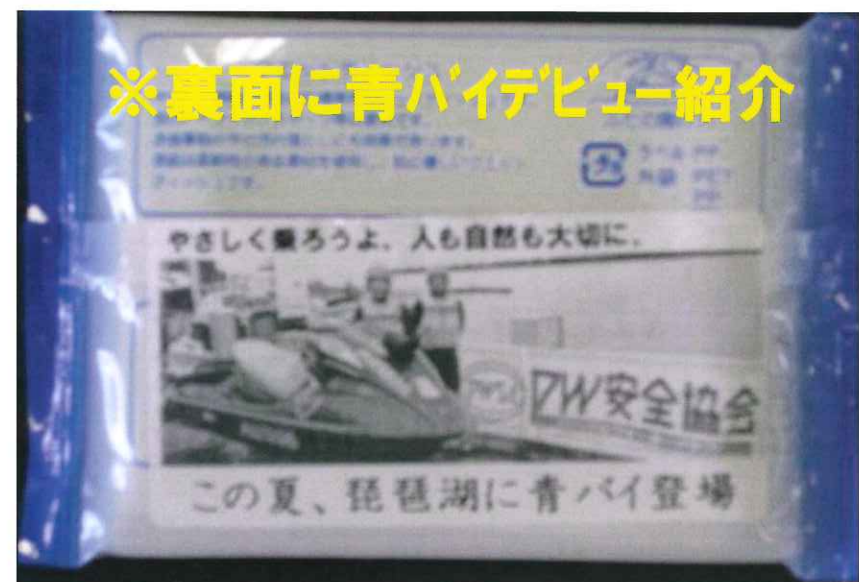
(西河公嗣)

平成22年度琵琶湖一斉マナーアップキャンペーン報告



平成22年度琵琶湖一斉マナーアップキャンペーン報告

※第2回目出動青バイと滋賀県作成の琵琶湖2st禁止啓蒙ツール



平成22年度琵琶湖一斉マナーアップキャンペーン報告

●日程:平成22年7月18日(日) 10:00~15:30

●参加機関,団体

滋賀県,長浜市,滋賀県警察,PW安全協会,
長浜港水面利用マナーアップ協議会

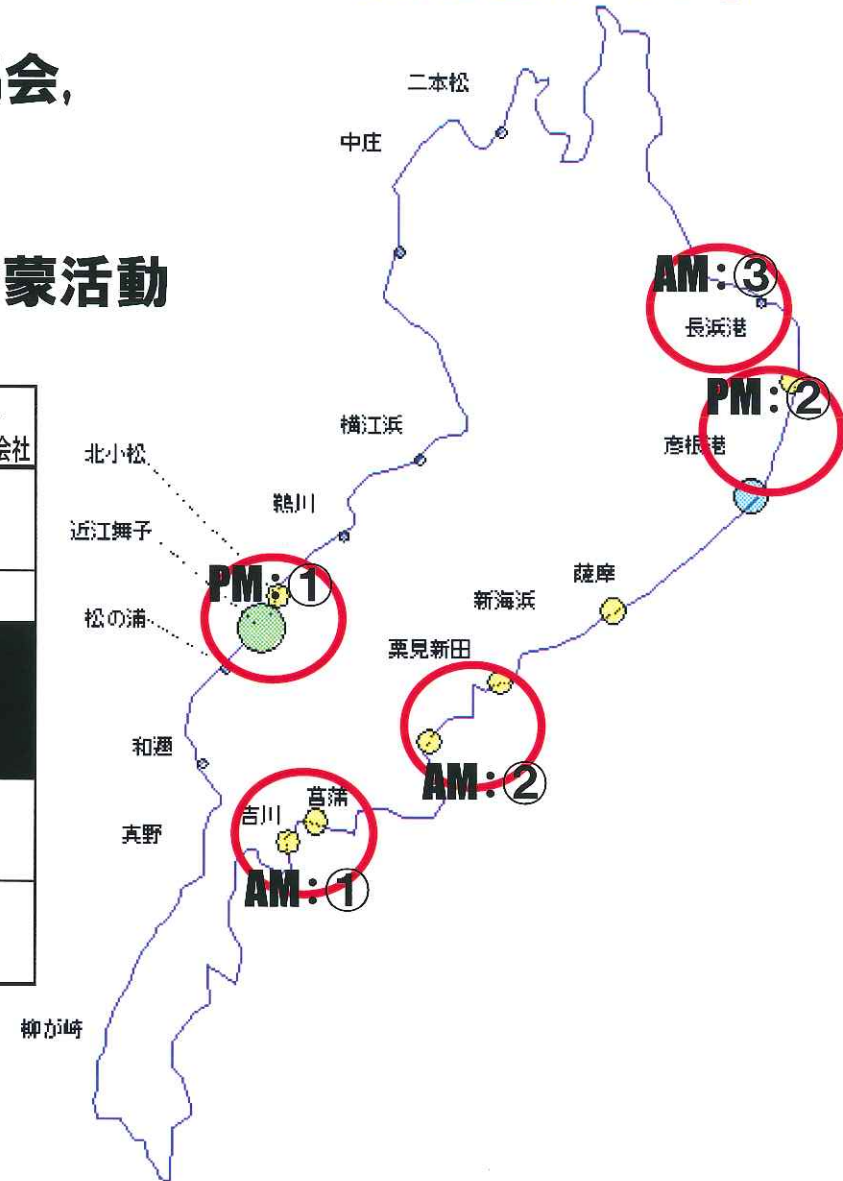
●実施内容:

PWC及びマリンレジャー利用者への安全啓蒙活動

●実施場所及びPWSA参加者

実施時間	実施場所	参加機関・団体	レジャー対策室 現場責任者	PWSA 現場責任者	PWSA 参加会員会社
10:00~ 12:00	① 琵琶湖南部 吉川湖岸緑地~マイアミ浜	・滋賀県 ・滋賀県警察守山署	青木室長	松岡支部長	ビークル
	② 東近江	・滋賀県	南主事	土居	プラスト
	③ 湖北 長浜港周辺	・滋賀県 ・長浜市 ・長浜港マナーアップ協議会	川村副主幹	堀越本部長	
13:30~ 15:00	① 大津市 近江舞子中浜~南浜	・滋賀県 ・滋賀県警察大津北署	青木室長 南主事	松岡支部長 土居	L&B
	② 湖東 彦根市松原スロブ~松原水泳場	・滋賀県 ・滋賀県警察彦根署	川村副主幹	堀越本部長	オグリ

【実施箇所マップ】



●水上監視及び啓発活動

- ・滋賀県レジャー対策室監視船出航
- ・琵琶湖配備『青バイ』第2回目出動

沙美海水浴場パトロール 青バイ導入 報告



2010/07/25

PW安全協会 中国地方本部 岡山支部



沙美海水浴場PWCパトロール&青バイ導入 報告



開会式



青バイ引渡し式
オバタボート副支部長よりポビーズさん



パトロール風景



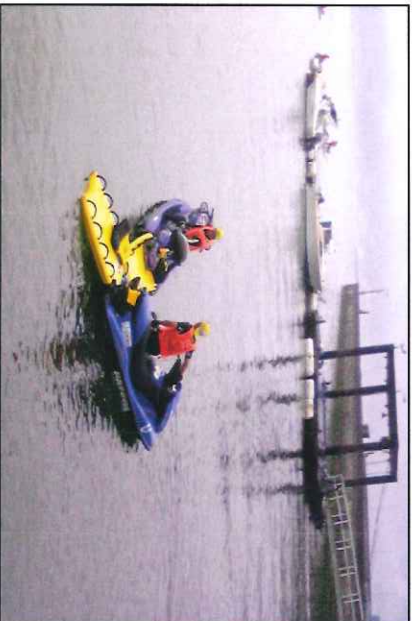
パトロール風景

沙美海水浴場PWCパトロール&青バイ導入 報告

- ◆名称: 沙美海水浴場PWCパトロール
- ◆日時: 平成22年7月25日(日) PM1:00~
- ◆場所: 岡山県倉敷市黒埼沙美海水浴場
- ◆主催: PW安全協会 中国地方本部 岡山支部
- ◆参加者: 岡山支部((株)オバタボート、ボビーズWC
中国運輸局、水島海上保安部、水島警察
瀬戸内海小型船安全協会(岡山県西部)

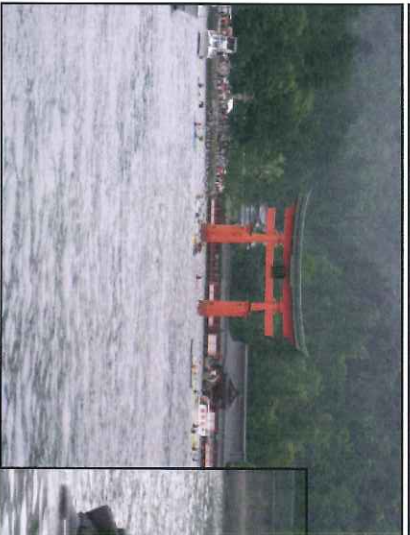
海水浴シーズンに合わせ、中国運輸局、警察、海上保安部、小安協の協力を得てパトロールを実施。陸上で、PWC愛好者グループの方に、安全啓発と保険加入のパンフレットの配布。海上からは、小安協のボートでパトロールを実施しました。パトロール開会式において、今回、日本財団の助成で、岡山地区に導入された「青バイ」の引渡し式を行いました。今後、「青バイ」で、岡山支部において、PWC愛好者への指導及び、レスキュー活動に活用したいと思います。

■6月27日宮島国際パワートライアスロン大会協力



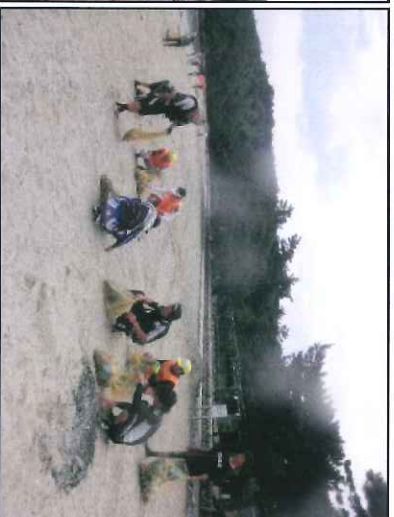
↑スタッフ集合写真(ノット艇は海楽園所有)

↑『青バイ』(手前)進水が間に合い、初出動です。
保管基地/海楽園ハーバー前海面にて
←宮島厳島神社前の海面が現場になります



ライフセーバーと協力して
警戒・救助にあたります

■7月4日包が浦(宮島)クリーンキャンペーン(CP)風景



↑集めたゴミは宮島町の協力で回収・処分して戴きました ↑進水したばかりの『青バイ』も出動しました

K38PWCLレスキュー技術者養成講習会(ピギナースライセンス)記録

＜会場:ヤマハリナ琵琶湖(株)ジェイ・オー・ビー＞

平成21年11月14日15日(2日間講習)実施

PWSA琵琶湖支部・関西地方本部・本部

- コース:K38ジャパン・PWCLレスキューピギナースライセンスコース(レスキュー及びドライバー兼務養成講習)
- 開催概要:2日間(11/14日座学・15日実技)
- 受講者:PW安全協会琵琶湖支部会員店:4会員全6名/JOB,ピークル、L&B,クイックアップ、
(関西地方本部/堀越本部長、琵琶湖/松岡支部長、本部貴治、小林)
- 使用艇:ランナウトPWC(3人乗:Yamaha FX)1艇,(レスキュースレット)1基
- 開催日の海・気象:曇天で弱い風、時々小雨、気温12度程度。肌寒く、受講者は、ドライスーツ着用が多い。
- 受講者感想:日頃乗っている装備とは違う状況(特にスレッド装着時)での操船に技術が必要であった。
レスキュー技術は、知らない事が多く、新鮮な驚きを感じた等、好印象。



■講師紹介(座学講習:K38Japan吉村講師)



■受講風景(14日座学講習)



■実技開始前説明(15日実技講習)



■実技講師(K38Japan岩森講師)



■受講生が交代で練習



■レスキュースレット使用練習(受講生による練習)

K38PWCLレスキュー技術者養成講習会記録

＜会場：広島県廿日市市・海楽園シーサイト＞

平成21年11月21日22日(2日間講習)実施/K38ビギナーズライセンス取得講習

PWSA広島支部岡山支部・中国地方本部・本部

- 講習概要：K38ジャパン・PWCLレスキュービギナーズライセンスコース(レスキューー及びドライバー兼務養成講習)
- 開催概要：2日間(11/21日座学・22日実技)講師3名(K38Japan吉村、岩森、斉藤)
- 受講者：PW安全協会広島支部、岡山支部会員店：3会員11名/フォートマイヤース、シーサイト、ホビースウォータークラフト、(中国地方本部/川上事務局長、広島支部/米田支部長、本部小林)
- 使用艇：ランナハウトPWC(3人乗：Yamaha VX+KawasakiSTX12F)計2艇、(レスキュースレッド)2基
- 開催日の海・気象：曇天無風、時々小雨、気温12度程度。肌寒く、受講者は、ドライスーツ着用が多い。
- 受講者感想：日頃乗っている装備とは違う状況(特にスレッド装着時)での操船が難しく感じた。
スキルアップして社会貢献に寄与したいと思う、さらに仲間同士の結びつきも強くなった。米田支部長より2回目の開催要望と、岡山支部/永井会員(ホビースレスキューステーション)からは、岡山での開催要望が在りました。



■座学講習：K38Japan吉村講師



■米田支部長も今回は受講生として参加



■k38Japan斉藤講師の講習



■受講生の自己紹介



■実技講習(右からK38Japan吉村、岩森、斉藤講師)



■受講生が交代で練習



■ハードな実技講習が終了して集合撮影(脱落者無し)

■PW 安全協会ホームページでの紹介記事

NPO法人 (特定非営利活動法人) **PWSA PW安全協会** (ボランティアネットワーク)

PWC HOW TO | ボート免許 | グレンド情報 | 会員一覧 | PWC FAQ | FRP 船体リサイクルシステム | PWSA 対人賠償責任団体保険

過去の記事

PWSA 琵琶湖支部に「青バイ」が配備されました。

平成22年6月26日(土)に日本財団の助成事業の一環として、PWSA 琵琶湖支部に「青バイ」が配備されました。九州では、地元小型船安全協会のバックアップのもと「青バイ隊」が組織され、ボランティアの方々が青い回転灯を装備したPWCを使用し、遊泳客に近づくなどの危険な運転をしないように、PWCユーザーやボートユーザーへ呼びかけるなどの安全啓発/コントロールやマナーアップ活動を行っています。

今年度は、琵琶湖をはじめ全国9箇所に配備を予定しています。今年度の配備1号艇となったPWSA 琵琶湖支部では、お披露目となった26日に、彦根・長浜両警察署、彦根地方水上安全協会観光船会社、水難救助に協力するボランティアサークルなど14団体が参加し、本番さながらの救助訓練を行いました。



インターネット